

子」下回平選舉辦を許す」下求式御工」におちぬ」許す」の意法を以
宜選々のこととする」一先」式」し」。

蓋其間突發の果業の地とちる期。式で自ら」里知を請得する式
今回の經基」お其」不輸とする御」許」する並協合」茶」青銀さる
」又此工機を並條を許す並協」一」する」非要」ある」許」

非お解ぬ」容」ある」式御工」地」へ」選舉辦を備得する里由さ
」」一」和」お大」へ」選舉」式」は其」新」の意法を」し」す
選舉察」出」ぬ」下聯合縣議」大」整」ある」お」非」實」並」さる」式
御」量」を」許」す」式」の」お」三」葉」つ」あ」つ」て」縣」對」お」並」」次」新」中」工」備」ま」つ」御
」お」感」を」知」立」する」の」つ」ある」。

財団法人協調會大阪支所

にせん爲め此の間の事情を書類又は社長の訓示かを以つて聲明す
る事となつて居る。